

金の魚

ピンク地底人3号

登場人物

妻

夫

金の魚

あばら家。

火鉢のある居間。

玄関の扉から隙間風がひゅると入ってくる……

レオタードを着た妻が、テレビの前でエアロビクスをしている。

※必ず1分以上、妻はエアロビクスをすること。

夫が正座して、妻の軽快なエアロビクスを見つめている。

夫の横には釣竿と魚籠（びく）。

夫の背中はとても丸い。

妻はエアロビクスをやめる。

足元に置いてあったポカリスウェットを手に取り、必要以上に喉を鳴らして飲む。

妻　どやった？

夫　うん。

妻　おったんやろ？

夫　うん。

妻 どこにおった？

夫 浅瀬を泳いどったね。

妻 何て？

夫 うん……せやな。

妻 何よ？はつきりせんな。

夫 うん……

夫 ちよつと難しいって。

妻 難しい？

夫 うん。

妻 何が？

夫 急に新しい家が欲しいって言われても、やっぱり困るみたいで……

妻 出来るやん？

夫 いや、だから難しいみたいやねん、どうやら。

妻 言ってるだけやろ？ほんまは出来るって。

夫 いや、無理ちゃうかなあ？

妻 そう思わされてねん、あいつに。

夫 いや、たぶんほんまに出来ひんのちゃうかな。

妻 イケるイケる。

夫 ……

妻 神様の使いやねんやろ？

夫 いや、それは知らん。聞いたことないし。

妻 金の魚なんて絶対、そうやん。

夫 普通の魚でないことは確かやな。

妻 絶対、そうやって。だって言葉だって喋れるわけやし。言葉喋れる魚なんて見たことある？

夫 ないな。

妻 ほら。(神様の) 使い以外、考えられへん。

夫 でもそこそこフランクな感じやで？神様の使ってもっと、堅苦しい感じちゃうの？

妻 神様の使いにも色々あるがな。そりゃあ中にはフランクな使いもおるやろ。

夫 それもそうか。

妻 ええやん。フランクな方がお願いしやすいやん。

夫 ……うん。

妻 あんた、試されてんねん。金の魚に。

夫 試されてる？僕が。

妻 あんた、金の魚にどれだけお願いした？

夫 どれだけってどういうこと？

妻 どんだけ「新しい家、ください」って言うたん？

夫 回数のこと？

妻 回数というか切実さの話。まあ回数と切実さは直結しとると思うけど。めっちゃ新しい家欲しかったら、何回も「新しい家、ください」言うやろ。

夫、指で数を数えながら考え込む。

夫 ……ごめん。難しい。

妻 あんた、また。

夫 あ。

妻 「難しい」言うの禁止言うたやろ。「難しい」なんて言うたら、難しくもないもんも難しくなってくるがな。あんたは昔っから、そうやねん。簡単なもんも難しい言うてほんまに難しくするんやから。何も難しいことなんてない。ほら、もう一回、ちゃんと考えて。

夫、再び指で数を数えながら考え込む。

夫 ……やっぱり、ほんまに難しいちゃうんかな？

妻 「難しい」禁止言うやたら！！

夫 ちよつと待って。ほんまやねん、今回の件に関してはほんまに難しい。

妻 金の魚に何回、「新しい家、ください」って言うたんか、思い出すん、そんなに難しいん？

夫 ちやうねん。数え方がいまいちわからへんねや。いや、言うたよ？「新しい家、ください」的なことは。

妻 的なことっていうのは何？

夫 つまりその……うまく説明できるか自信ないねんけど。

妻 ……

夫 だからその……言葉って、色々あるやん。言っていないけど言ったって言うか。言ったのに言っていないって言うか……わかる？

妻 全然わからへん。

夫 例えば、せやな……僕、今、喉が渴いています。めっちゃ喉を潤したいです。何か飲むもんないかな……あ、そのポカリスエット、くださいー！！

妻 一回やな。

夫 せやねん、これが一回いうのはわかる。でも例えば、こんなもあるわけやん。

夫ははあはあ言いながら、チラチラとポカリスエットを見る。

夫 喉、乾いたなあ……

と呟いてから、妻をちらりと見る。

夫　みたいな。

妻　……

夫　これも一回やんね？

妻　違う。

夫　え？

妻　言ってないやん。「ポカリスエット、ください」って。

夫　これは数えない？

妻　数えへん。

夫　でも伝わるやろ？「喉が乾いたなあ」だけで伝わるやろ？

妻　伝わるかもしれんけど、それは数えへん。

夫　数えへんねんや？

妻　違うやん。うちはあんたが何回、金の魚にはつきり「新しい家、ください」言うたんか聞いてんねん。

夫　いや、僕はつきり気持ちの問題やと思ってたから。どこからどこまでが「新しい家、ください」なんかわからんくて。

妻　ちよっと待って。あんた、もしかして金の魚に「新しい家、ください」って言っただけでいいんちゃうん？

夫 ……

妻 言っていないんやろ？

夫 少なくとも一回は言うた。

妻 一回だけやろ？

夫 それはわからへん。

妻 わからへんことないやろ？ちゃんと考えてみて。

夫 ちゃんと考えれば考えるだけわからへんくなるねん。僕、さっき言ったみたいに直接的な物言いじゃなくても「新しい家、ください」やと思っ
てたから。あ、あれも「新しい家、ください」に入るんかな？とか思ってたら、それは「新しい家、ください」に記憶の中で勝手に書き換えられて
しまうやん。だからもう何回、言うたかはわからん。

妻 思い出せへんねやね。

夫 思い出せへん。

妻 思い出せへんってことは「新しい家、ください」って言っていないも同じやね。

夫 それは違うやろ。少なくとも「新しい家、ください」って言ったのは間違いない。もっと言った可能性は大いにある。

妻 もうええわ。もう一回、金の魚にお願いしてきて。

夫 えー。

妻 ほんで、次はちゃんと数えてこい。

夫 無理やねんで。金の魚にも出来ることと出来ひんことがあるねんから。

妻 このテレビだって、このレオタードやってバツて出せたんやから、新しい家だって出せるやろ？

夫 いや、テレビとレオタードと新しい家じゃ、全然違うよ。サイズもスケール感も。

妻 頑張れば出来るって。

夫 うーん……

妻 寒ない？

夫 え？

妻 この家。

夫 ああ……寒いな。

妻 そろそろ限界や思うねん。

夫 うん。

妻 でもお金ないやん。

夫 うん。

妻 ほしたら何とかしてもらわんと。

夫 でもそれを金の魚に言うてもあかんのちゃうかな？

妻 何で？あんた、金の魚の命、助けたんやろ？

夫 うん。

妻 ちゃんとお返しもらわなあかんやん。

夫 もらったやん、テレビ。ほしたら次はレオタード欲しい言うから、しゃーなしでまたお願いしたらレオタードもくれたやん。

妻 テレビとレオタードだけでいいの？

夫 いいとかじゃなくてやな。

妻 テレビで、この冬を越せますか？レオタードで、雪の中、歩けますか？

夫 越してきたやん、冬、今ままで。

妻 あんた、ほんまに何も知らんねんな。気候変動、知らん？

夫 ……

妻 人間がむちゃくちゃしたせいで、地球が丸ごとおかしなっとんねん。夏はどんどん暑くなって、冬はどんどん寒くなりよんねん。

夫 確かに年々暑くなって寒くなってる。

妻 せやろ？去年の冬は越せても今年は越せへんかもしれらん。仮に今年、この冬を越せたとしても来年は越せへんかもしれへん、さらに寒くなってるからね。ほしたら新しい家、必要やん。

夫 必要やわ。

妻 だったら頼まへんと。

夫 ……

妻 近藤さんのとこの新しい家、床暖やねんで。

夫 ユカダン？

妻 それも知らんか。

夫 次から次へと新しいこと言わんといてよ。

妻 床暖房のことやがな。床があつたかいねん。あの家、二世帯でな、孫が時々、リビングにきて、床に寝そべるねんで。

夫 今時、そんなんがあるんやな。

妻 それに比べてうちは何や。火鉢つて。こんなん手元しかあつたまらへん。

夫 手元があつたまるだけ、ありがたいと思わんと。

妻 とにかく、床暖の新しい家。ほら、行つといで。

夫 えー。

波の音。

☆

3時間後。

魚籠（びく）から金の魚が上半身を出している。

3人は何を言うでもなく、火鉢を囲んでいる。

金の魚が鼻をすする。

魚　　そういうことじゃないが。のう？

妻　　……

魚　　普通は一つやけん。でもどうしてもいうからテレビだけじゃなくてレオタードの願いも叶えてあげたんよ。それが何ね？新しい床暖の家が欲しいって。それはいくらなんでもじゃないかね。

妻　　これで最後にしますから。

魚　　最後言うて、またそれが叶ったら、別の願いを言うが。このパターン、知つとるわ。人間の欲には際限がないけんね……奥さん、わたしはこの人（夫）に感動したんよ。最初に、命を助けてもらった時、わたしは確かに何でも願いを叶えます言うたわ。せやのに、この人は「何にもいらん」いよる。この時代にこんな欲がない人がいたもんや、人間も捨てたもんやない。最近、トイレが近くてな。2時間も寝たら尿意で目が覚めてまうんやけど、その日は、海の中でぐっすり眠れたわ。ありがとう。

夫は嬉しそうに首を横に振る。

魚　　ほしたら次の日、わしの事を誰かが呼ぶやんか。この人や。やっぱりテレビが欲しい言いよる。妻にプレゼントしたい。ええやないの。自分のためではなく、妻の願いを叶えたい。もういっこ感動したね。ええよええよ。わしも命を助けてもらっておいて、何の願いを叶えへんことに引け目を感じてたとこやったが。すぐ叶えた。光の速さとはこのことやけんね。その日もぐっすり眠れたね。ほしたら次の日、また声がするやんか。案の定、この人やが。ほしたら今度はレオタードが欲しい言うやんか。あれ？って思ったよ。普通の人はレオタードが欲しいなんて言わへんもん。でもやっぱり命を救ってもらったし、まあまあレオタードぐらいはって思うよ。ほしたらその日、尿意で目が覚めたわ。やっぱりわたしも納得して

なかったんやろね。ほしたらまた声がしよる。この人やが。今度は新しい家が欲しいって言いよる。そこでわし、気がついたけんね。わし、利用されよる。

妻 ……

魚 なんかいね。凶星でぐうの音もでんか。

妻 ……おかしいと思いませんでしたか？

魚 何ね？どういう意味やが。

妻 テレビが欲しいなんて。今時、テレビのない家なんてありますか？

魚 ……説明してもらおうか？

妻 実はテレビ、あつたんです。お隣の奥村さん。この間、泥棒に入られてね、家にあるもん、根こそぎ持っていかれたんですわ。そのショックで奥村の旦那さん、死んでもうて。まあ奥村の奥さん、寂しい寂しい一人暮らしですよ。そんなん放っておけます？お隣として。いや、人間として。

魚 それは…放っておけへんわ。

妻 そうでしょう？だからうち、この家のテレビを奥村の奥さんにあげたんです。テレビがあれば気も紛れるでしょ？

魚 徳を積んだねえ。

妻 でもこの人がね。毎週楽しみにしてた番組があつたんです。『アイアンマン』って知ってます？スーパーヒーローものですわ。そのドラマが始まって。妻としてはねえ。

魚 見せてあげたいのう。

妻　せやし、金の魚さん、助けたんやったらテレビもらってきたらどうえ？って言うたんです。

魚　そうやったんやなあ……わしはてつきり奥さんが自分のためにテレビが欲しい言いよる思ってたけど、それはお隣の奥村さんのためであり、ここにいる夫のためやったんやなあ。それならそうと最初から言ってくれんと。

妻　そんなことはよう言いません。

魚　慎ましやかやわあ。目を見張る慎ましやかさやわあ。

妻　レオタードもそうです。こんな寒い海辺の町で誰がレオタードなんて着ますか？

魚　それも理由がありよるね？

妻　出来たら説明したくないんです。だって説明してしまったら、いかにうちが自分のことではなく、隣人のこと、夫のことを考えてるかかってひ
けらかしてるみたいで……

魚　言わんでええが。みなまで言わんでよろしいが。

妻　すいません。

魚　不思議やなあ。奥さんへの評価、今、うなぎのぼりやで。わし、うなぎやのうて魚やけど。のう？

金の魚と妻はガハハと笑う。

魚　この人（夫）から聞いたんとまるで話が違う。妻のわがままに付き合っつて仕方なくみたいなの雰囲気というもんやから。

妻　いいんですいいんです。

魚 いい奥さんやないけ？

夫 ……

妻 だからね、新しい家が欲しいのも……

魚 言わんでええが。みなまで言わんでよろしいが。

妻 いいんですか？

魚 もちろんええが。ただな、床暖付きの新しい家となるとバツと出すわけにはいかん。ごつついエネルギーと集中がいるから。

妻 いつぐらいになりますか？

魚 一週間後には。

妻 すいません。お手数おかけします。

魚 いいねいいね。あんたのためやったら、この命、もういらん！！

間。

妻 え？

魚 わし、死ぬね。完全にわしの能力、超えとるもん。一度は救ってもろたこの命、あんたのためなら惜しくないばい。

妻 ……金の魚さん、今日は泊まっていけますか？

間。

魚 うむ。

妻 寢床、用意してきますね……

と妻は奥へ去ろうとする。

夫 嘘です。

間

夫 金の魚さん、今の妻の話、全部嘘です。

魚 嘘？

妻 あんた、何言うてんの？

夫 この家には最初からテレビなんてありません。隣の家の奥村さんは泥棒に入られてません。奥村の旦那さんはどうの昔に亡くなっています。

僕、アイアンマンなんて見たことないです。妻がレオタードを欲しがったのは他でもなく自分のためです。お隣のお隣の桐野の奥さん、ごっついお金持ちで豪邸に住んでるんです。でも僕らみたいなもんにも優しくしてくれて一ヶ月に一回、家に招待してくれるんです。そしたらレオタード着て、

エアロビクスやってはったんです。妻は見栄っ張りやから、うちも桐野の奥さんに負けられへん言うてレオタード欲しがったんです。全部全部、自分のためなんです。

間。

魚 奥さん。今の話、ほんまなんか？

妻 ……

魚 嘘か本当かは、お隣の奥村さんやお隣のお隣の桐野さんところ行けば、わかる話やけんね？

妻 あんた（夫）、どうしてそんな嘘つくん？新しい家がなかったら、うちら凍え死ぬねんで？

夫 金の魚さん、騙してまで僕は生きたくないねん。

魚 どうなんや？奥さん。あんたはわしのことを騙しよるんか？

妻 ……

魚 何も言わへんのが何よりの証拠か！！

妻 ……ええんか？私にそんな口を聞いて。金の魚よ。

魚 ……

妻 いつから人間に指図するようになったんや？所詮自分は魚やということを忘れたか？誰がお前を金の魚にした？誰がお前に人の願いを叶える力を与えた？

魚 ……

妻 私は誰だ。言うてみい。

魚 ……あなたはもしかして。

妻 そう、私だ。

金の魚はとっさに目を両手で隠す。

魚 (夫に) ほら、あんたも隠さへんと。この人を直視したらあかん。目が潰れるぞ。

言われるがまま、夫も両手で目を隠す。

妻 まだお前に疑いの心が見える。目を隠したまま、こっちにこい。

金の魚は魚籠(びく)から這い出し、妻の側へ。

妻 触れろ。

金の魚は妻の腕に触れる。

妻 これはレオタードではない。皮膚だ。

魚 はあ！！

妻 ようやくわかったようだな。

金の魚はひれ伏す。

妻 お前の信仰を試したのだよ。私を信じるか、その夫を信じるか。

魚 この愚かな魚をお許してください。

妻 お前の罪は、この世界にいる全ての魚の罪である。連帯責任である。

魚 そんな！！

妻 お前は私が力を授けたのをいいことに、やりたい放題やりすぎた。今から、この世界の魚、全てを大きな大きな網ですくい上げ、砂漠に放り出してやる。むうう……

と妻は目をつぶり、身体に気を集め始める。

魚 どうかそれだけは！！全て私の責任です！！

妻 連帯責任である！！

魚 おやめください！！魚のいない世界なんて！！魚ぼっちになりたくない！！

妻 反省しているか？

魚 反省しています！！

妻 自分のためではなく、他の魚のために、その身を捧げる覚悟はあるか！？

魚 ありますありますいっぱいあります！！

妻 ではお前に授けし、その能力を私に返しなさい！！

金の魚は目を瞑り、身体に気を集め始める。

魚 はあ！！

と金の魚はカッと目を見開く。

沈黙。

金の魚は目を見開いたまま、その場に倒れる。

金の魚は世界中の魚の罪を背負い、死ぬ。

妻は身体中に力が漲るのを感じる。

妻は屈み、右手を床につける。

妻　床暖になあれ。

床がゆっくりと暖かくなる。

妻はテレビのリモコンを取り、スイッチを押す。

白人たちがエアロビクスをする映像が流れ始める。

妻はエアロビクスを始める。

妻は笑っている。

夫はそんな妻を見つめている。

終わり

参考文献 『きんのさかな』再話…八百板洋子／絵…スズキコージ

こどものとも2023年8月号